

待望の山小屋「棚山小舎」開設

「我が山岳会に山小屋を」との熱き思いがあった。そこで大林久三（現相談役）が中心となり検討する事となり、縁あって南設楽郡鳳来町（現在新城市）にある棚山高原（標高約700m）に候補地を見つけることができた。そして幾多の難題を乗り越えて、待望の山小屋開きを1973（S48）年7月1日に行った。

当時、棚山山頂付近の棚山高原にはキャンプ場があり、大いににぎわっていた。

山小屋開き迄の経過は以下のとおりである。

1972（S47）年12月

山小屋建設の構想を発表し、多くの賛成を得て建設の可能性を求め行動に移る。候補地の棚山高原は川売に住む夏目作造氏始め四名の共有地である事がわかった。

1973（S48）年 1月

- ・夏目氏宅を訪問し、当会主旨を説明した。氏の実弟である山口昭一氏所有の小屋を紹介していただき、当会との仲介をしても良いとの返事を得る。
- ・小屋を見て借用したい旨夏目氏に願います。
- ・所有者より借用を承諾する旨連絡がある。

同 年 4月

第2例会にて、これまでの経過報告を行い、契約書作成の準備と棚山小舎管理委員会の設立を発表する。

同 年 5月27日

小屋所有者の山口昭一氏と契約を結ぶ。

同 年 7月 1日

設備を整え、山小屋開き（式典、記念植樹）を行う。



1960年代の棚山高原キャンプ場



1973年 棚山小舎開設



1973年 記念植樹
植樹を行う谷口愛知県山岳連盟理事長

小屋の修繕や改造も自分たちの手で

小舎は樹林の中にあるため、湿度が高く小舎廻りの傷みも激しい。そこで、開設以来小舎管理委員長を務める大林久三の下に会員が集い、小舎のペンキの塗り替え等の修繕や改造を行ってきている。

当会には、さまざまな職業の会員があり、修繕や改造（ペンキ塗り替え・床の張り替え等）を会員の手で行い、より利用しやすい施設となっていった。

そして、2000年9月、長い間の切望であったテラス（通称バルコニー）は、会関係者からのカンパを募り、会員の手により建設（丸太の運搬・皮むき・切断、土台作りから組み立て）を行い完成した。また、テラス建設に併せ、テーブルや長椅子も製作設置し、屋外の澄んだ空気のもと快適な宴会等を楽しめるようになった。



ペンキ塗り替え作業



テラス建設中



完成したテラスで宴会



樹脂製トイレの設置

棚山小舎の修繕・改造履歴

1975(S 50)年 4 月	ペンキ塗り替え	1996(H 8)年 5 月	ペンキ塗り替え
1989(H 1)年 10 月	スチール製トイレの設置	2000(H 12)年 9 月	テラスの建設
1990(H 2)年 4 月	ペンキ塗り替え	2005(H 17)年 4 月	ペンキ塗り替え
1994(H 6)年 5 月	床の全面張り替え	2005(H 17)年 6 月	樹脂製トイレの設置